

# 知床羅臼写真コンテスト 2021

## 受賞者発表

知床羅臼写真コンテスト 2021 に多くのご応募頂きありがとうございました。  
厳選なる審査の結果、各賞が決定いたしましたので、ここに発表致します。

### <最優秀賞>

「フィルムのひとつま」 佐藤智一

### <生き物部門賞>

「朝のご馳走」 早川徳幸

### <自然・風景部門賞>

「子熊のお花見」 佐藤力

### <スナップ部門賞>

「昆布巻き」 吉田恵人

### <知床羅臼町観光協会会長賞>

「流氷とオジロワシ」 北川いずみ

(一社) 知床羅臼町観光協会

応募総数 95 点

(生き物部門 42 点、自然・風景部門 27 点、スナップ部門 26 点)

## 審査員講評

### 【全体を通して】

今回の応募作品の点数は少なかったが、レベルが非常に高くなっていた。これまでにない作品が徐々に増えてきていて、このまま裾野が広がってほしい。今後は、素晴らしい応募作品が増えてきているが、生き物部門については切り取り方が目新しいものがあればいい。切り取り方によって見え方は様々なので、被写体は決まった動物になることが多いが違いがみられることを期待している。また、目立たない動物にもスポットをあててほしい。今後の作品も期待しています。

### 【最優秀賞】 「フィルムのひとつま」佐藤智一

かなり完成度が高く、素晴らしい。フィルムを連想させる撮り方、桜の花が際立つように見えるなど、切り取り方が非常に上手。作品を作る上での基礎がしっかりとしていて、作品全体が非常に洗練されているという印象を受ける。

### 【生き物部門賞】 【生き物部門賞】「朝のご馳走」早川徳幸

きつねの親子の愛情がとても感じられる良い写真。また、お腹がいっぱいなのか、子ぎつねの表情が非常に穏やかで良い。知床は生き物と人との繋がりを大切にしているので、番屋のそばの親子の姿は知床ならではの雰囲気が出ています。

### 【自然・風景部門賞】 「子熊のお花見」佐藤力

写っているシレットコスミレは、羅臼の硫黄山にしかない非常に貴重な花。その近くにヒグマの足跡が付いていて、なかなか撮ろうと思って撮れる写真ではない。熊が花の匂いを嗅いだのかな？花を跨いでいったのかな？と想像することができ、1枚の写真の中から多くの物語が見える。

### 【スナップ部門賞】 「昆布巻き」吉田恵人

羅臼昆布の作業中での写真。顔の表情が非常に良く撮れており、なにより笑顔が素敵だ。羅臼の代表的な特産物である【羅臼昆布の加工】が、代々受け継がれ、親しまれていると感じられる1枚。

### 【知床羅臼町観光協会賞】「流氷とオジロワシ」北川いずみ

目を引くキリっとしたオジロワシの表情が素晴らしい。羅臼で見られる日の出。撮影日の日は淡い色の背景でとても優しく、さぞ美しかったことだろう。

**審査員**

審査委員長 石井 英二

副審査員長 関 勝則

審査員 大野 貴史